

「子どもの意見反映推進業務」に関する質問と回答

	質問	回答
1	「ワークショップ終了後に意見の 카테고리ごとに主な意見を取りまとめるとともに、同じカテゴリーで全ての意見を掲載した資料」とありますが、「カテゴリー」の設定は受託者が独自に行うのか、県との協議で決定しますか。	カテゴリーの設定について、事前の打ち合わせにおいて県からある程度方向性を示すことも考えられますが、基本的にはワークショップで出てきた意見に対して、受託者の判断で分類し、分類ごとのカテゴリーの設定案を作成いただいたうえで、県と協議して決定することを想定しています。
2	図書カード500円の調達・手配は受託者が受託金額の中で行うものと理解していますが相違ありませんか。	お見込みのとおりです。
3	図書カードの配布は当日手渡しか、後日郵送かについても、要求水準を確認させてください。	図書カードの配布方法に関しては、参加者へ適切に配布ができれば問題ないため、その手法は問いません。